a whaling ship
ほげい船

基本理念
私達は心のこもった医療を行い、地域に信頼される病院となることを目指します。
独立行政法人
国立病院機構高知病院

編集●独立行政法人国立病院機構高知病院広報誌編集委員会／代表●先山正二／住所●高知市朝倉西町1丁目2番25号／電話 088-844-3111／FAX 088-843-6385

高知県における医療の課題
―チャットGPT曰く―

NHO 高知病院　院長
先山　正二

令和５年度が始まりました。本年度もよろしくお願い致します。予定されていた５月８日からの新型コロナ感染症の５類移行が正式決定し、今のところその決定は概ね適切であろうと考えられる状況です。

ところで、今、世間ではチャットGPTに関心が集まっていますが、チャットGPTで次のような質問を投げかけてみました。“高知県の医療の課題について”、すると間髪おかずに次の回答（ママ）がありました。

高知県における医療の課題としては、以下のような点が挙げられます。

１．人口減少に伴う医師不足
高知県は人口が減少しており、医師不足が深刻化しています。高齢化も進んでおり、地域医療の維持が困難になっていることが課題となっています。

２．重症患者の受け入れ先不足
高知県には大規模な病院が少なく、重症患者を受け入れる施設が不足しています。地域医療を担う医師や病院は、限られた人員・設備で多くの患者を受け入れるため、専門性の高い医療が提供できないことが課題となっています。

３．医療格差の是正
高知県の医療格差は深刻であり、地域によっては医療サービスの提供が不十分な状況があります。特に、離島や山間部などの過疎地域では、医師不足や設備不足が深刻で、適切な医療が提供されていないことが課題となっています。

４．在宅医療の拡充
高齢化が進む高知県において、在宅医療の需要が増加しています。しかし、在宅医療の提供体制が整っておらず、患者や家族の負担が大きくなっていることが課題となっています。

５．医療情報システムの整備
高知県の医療情報システムは、全国的に見ても遅れているとされています。診療情報の共有が十分にできておらず、医療機関間の情報連携が不十分であることが課題となっています。

さらに、“医療格差とは”、“課題を解決するためには”などと、チャットGPTとのやりとりを行いましたが、世間で注目され、言われていることは色々な点で、もっともだと思いました。

“国立病院機構高知病院の課題について”も質問してみました。すると、“国立病院機構高知病院について、具体的な課題を把握することはできませんが、一般的に国立病院機構は以下のような課題に直面しています。”と。病院機構の課題をつらつらと挙げてくれました。

上記諸課題に関する私自身の考えは紙面と時間の関係で省略させていただきました。“えらい”時代になってきたものです。

新幹部職員紹介

事務部長　齊藤　隆夫

このたび、南岡山医療センターから４月１日付にて、伝統ある高知病院の事務部長として着任いたしました齊藤 隆夫（さいとう たかお）と申します。

生まれは、鳥取県ですが、現在の生活の拠点は広島県広島市です。四国勤務は初めてですが、職員の皆さまの温かいお言葉を頂戴しながら、新しい環境にも慣れつつあります。

先日、お休みの日に、桜やツツジが美しく咲き誇る中、鏡川周辺をゆっくりと走りましたところ、爽快な気分でした。地産の鰹のタタキにも感動いたしました。

病院運営は、大変厳しい状況ではございますが、私の役割は先山院長を支え、今後の当院の進むべき方向性や諸課題を認識し、誠心誠意努力することだと思っております。

皆さま、どうぞ、よろしくお願いいたします。

薬剤部長　成岡　功

４月１日付で薬剤部長として赴任いたしました成岡 功（ナリオカ イサオ）と申します。愛媛県出身、松山の民間病院に勤務した後、四国がんセンター→愛媛→米子→東徳島→高松を経て、この度高知病院へまいりました。巡りあわせでしょうか全ての施設において建替え準備、引っ越し、システム導入・更新の何れかを経験いたしました。当院では落ち着いた環境で業務に専念できそうです。

アフターコロナ、ウィズコロナを踏まえつつ、大規模災害発生時に薬剤部の機能を維持するための現実的な対応・体制を整えて、当院の医療機能の強化・推進に努めてまいります。又、働き方改革を意識して医師の負担軽減を進めると同時に、増える一方の薬剤部業務の合理化を行い、迅速且つ円滑に各部門と協働できるように職場の環境づくりにも注力いたします。そのためには日々の努力と互いを思いやる心、労わる気持ちが大事と考えます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

経営企画室長　玉井　笑

４月１日付で経営企画室長として赴任いたしました玉井笑と申します。高知病院には７年ぶりに帰ってきました。

趣味はお遍路です。何度か１番札所から順番に参拝した後は、桜が綺麗な時期は８番札所の熊谷寺、夏の暑い時期は山の上の鶴林寺等気の向くままに参拝しています。高知県で私の一番のお気に入りは足摺岬の金剛福寺です。夏の晴れた日に参拝すると、まるで竜宮城に行ったような気分になります。

令和５年度はコロナウイルス感染症が５類感染症に移行するに伴い、様々な変化が生じることが予測されますが、皆さんと協力しながら収益確保のために精一杯努力する所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

新医師紹介

小児科医長　前田　明彦

安芸市の出身で、平成元年に卒業した小児科医師です。高知大学病院で10年間、幡多けんみん病院で12年間勤務したのちに、当院に赴任してきました。すっかり幡多弁になじんでしまい、ちょっと「がいな」土佐弁がなつかしいと感じる今日この頃です。

退職まで数年しか残っていませんが、初心にもどって、患者さんにやさしく（職員さんにも環境にもやさしく）、ていねいな診療を心がけたいと思っています。病院や診療について、「もっとこうした方がいい」といったご提言、お叱りのことばをお待ちしておりますので、ご遠慮されることなくおっしゃってください。

麻酔科医師　島津　朱美

高知病院での勤務はこれが２回目で、一回目はちょうど20年前でした。

病棟や外来で懐かしいかつてのスタッフに声を掛けていただいて、緊張が和らいでいます。

経験豊富な手術室のスタッフに支えられて、少しずつ新しい環境にも慣れてきました。

年間1700件余りの手術を安全に管理できているのは、

麻酔科医だけではなく手術室に関わる全てのスタッフの努力の賜物と思います。
私も早くその一員として活躍できるように頑張ります。
どうぞよろしくお願いいたします。

小児科医師　髙橋　一平

この４月から小児科に赴任しました。髙橋 一平と申します。生まれも育ちも高知で、前年度までは高知大学病院で働いていました。子育てと地元高知での小児・周産期医療への貢献を両立すべく、奮闘しております。

全国的にも少子高齢化が進んでいる高知県において、育児はなかなかに大変だと思います。発熱や湿疹、嘔吐などの病気の相談のみではなく、育児面・療育面での相談にも乗っていければ良いな、と思っています。

そろそろ若手と名乗る事ができなくなってしまいましたが、初志貫徹、日々精進して行きたいと思います。よろしくお願いします。

呼吸器内科医師　市原　聖也

本年度４月より呼吸器内科常勤となりました、市原 聖也（いちはら せいや）と申します。

徳島大学医学科を卒業後、徳島大学病院や愛媛県立中央病院、高知赤十字などで初期研修を経て、徳島大学病院呼吸器膠原病内科学分野に入局しました。当院へは令和４年度より赴任しています。私は高知県土佐市出身であり、自身の出生地でもある当院で勤務できることを嬉しく思います。

呼吸器内科医師として患者様に信頼され、地域に貢献できるように精進して参りますので何卒宜しくお願い致します。

産科医師　野口　拓樹

本年１月より産科に赴任致しました野口 拓樹（のぐち ひろき）と申します。徳島県出身で、2018 年度に徳島大学を卒業した後、静岡県にある聖隷浜松病院で初期研修を行い、2021 年度に徳島大学 産科婦人科学分野に入局致しました。１年９ヵ月間、徳島大学病院で研鑽を積ませて頂き、この度、高知病院に赴任して参りました。

妻と４歳の長男と高知県に引っ越して参りまして、この４月には当院で次男が生まれ、今は家族４人で暮らしております。産婦人科医になって初めての我が子のお産を、この高知の地で取り上げることが出来たのも何かのご縁のように感じます。

改めてお産は医師だけでなく、家族、助産師をはじめとする病院スタッフの方々とのチーム医療の中で成り立っているものだと強く感じました。一人でも多くの方が、笑顔あふれるお産ができるように、チーム一丸となって安全、安心の医療を届けて参りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

外科医師　石川　大地

徳島出身、徳島大卒（H22）の石川 大地と申します。徳島大学病院、留学、徳島県中、吉野川医療センター、愛媛県中を経て、この度高知病院に参りました。臨床では地域中核病院での一般外科診療をはじめ、野戦病院での腹部救急、先進施設での外科手術など、学術面では国内外での基礎研究、学会発表や座長、論文執筆など、幅広く一通り経験してきました。

高知は初めてで完全な初心者ですので色々と教えていただければ幸いです。まだまだ修練中の身であり、至らぬ点多々あるかと存じます。一般外科・消化器外科医として微力ながらもお役に立てるよう、また地域医療に貢献できるよう努めたいと思います。ご指導よろしくお願いします。

呼吸器内科レジデント　松村　有悟

今年度より国立病院機構高知病院呼吸器内科として勤務させていただきます松村　有悟と申します。医師 4 年目と若輩者ではありますが、呼吸器内科として地域医療に貢献していきたいと考えております。

徳島出身であり、高知県とは今まで縁がありませんでした。赴任してまだ間もないですが、人の良さと居心地の良さをとても感じております。風情ある路面電車やひろめ市場などの活気溢れる観光地もあり、とてもワクワクしております。

呼吸器内科として高知県の医療に貢献していくと同時に、高知の魅力を今後どんどん見つけていきたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。

新任職員紹介

教育主事　吉川　明美

4 月より四国こどもとおとなの医療センター附属善通寺看護学校から高知看護学校に着任いたしました、吉川 明美と申します。善通寺、東徳島、岡山とそれぞれの地で多くの経験をし、学んできたことをいかして新任地 高知でも頑張っていきたいと思います。

高知県は太陽がさんさんと降り注ぎ、「元気がある」「野菜や果物がいきいきと育つ」というイメージです。そんなイメージが教育の現場にもつながるよう、そして皆様の一員として協力してやっていけるよう元気に取り組んでまいります。さて、高知看護学校は地域より期待される看護師養成所として、長年にわたりその役割を果たしてまいりましたが、本年度最後の入学生を迎え入れ、3 年後には閉校となります。閉校に向けての大きな役割も担いながら、今在学している学生一人ひとりが、それぞれの目標に向けて確実に学び、今の社会の変化に対応しうる、柔軟で誠実な看護実践者として成長していけるよう支援してまいります。皆様、どうかよろしくお願いいたします。

専門職　胡木　晋一

はじめまして。4 月 1 日付で高松医療センターより転勤して参りました、専門職の胡木 晋一（えびすぎ しんいち）と申します。出身は広島県三原市で、これまで岡山、広島、島根、香川の病院で勤務を経験しましたが高知県は今回が初めてなので、趣味のサイクリングであちこち回りつつ溶け込んでゆこうと思っています。

早く業務に慣れて病院に貢献できるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。

職員係長　海部　香帆

この度、岡山医療センターより赴任して参りました、職員係長の海部 香帆（かいふ かほ）と申します。学生時代を高知で過ごしておりましたので、5 年ぶりの高知になります。高知への転勤をうけ、食べ物の美味しい高知での生活を楽しみにしておりました。

まだまだ知識も経験も浅く、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、日々勉強し、精進していきたいと思いますので、これからもご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

薬務主任　氏原　弘洋

4 月より薬務主任として赴任しました、氏原 弘洋と申します。薬剤師として働き始めたのが 12 年前で高知病院でした。5 年間高知病院で勤務後、呉医療センター・中国がんセンターへ異動となり7 年務めて、また高知病院に戻ってきています。7 年経っていますが、他部署含め多くの方が変わらずいらっしゃって少し驚きました。覚えている看護師の方が配置換えされていたり近くで開業されている医師がいたりと、浦島太郎状態というよりパラレルワールドに来た感覚です。

抱負としましては、薬剤師数は欠員もあり増えていない状況のため、前施設での経験も活かして効率化できる業務を見つけて改善していきたいと考えています。よろしくお願いします。

製剤主任　菅　寛史

この度、4月1日付で薬剤部 製剤主任として異動して参りました菅 寛史（かん ひろし）と申します。出身は愛媛県で、高知病院は静岡てんかん・神経医療センター、愛媛医療センターの次で3施設目になります。

高知県に住むのは初めてではありますが、こちらに来て数週間になりますが、高知県は自然が豊かで、おいしい食べ物が多く、人が温かい方が多いと感じています。趣味は、大学時代から続けているサーフィンで、高知でも続けていきたいと思っております。

皆様方に、ご迷惑をおかけすることもあるとは思いますが、精一杯努力していこうと思っております。 また、少しでも患者さんのお役に立つことができるよう、日々学びながら頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

副診療放射線技師長　鈴木　大輔

4月1日付けで四国こどもとおとなの医療センターから赴任いたしました、放射線科　副診療放射線技師長の鈴木 大輔（すずき だいすけ）と申します。広島西医療センター・呉医療センター・四国こどもとおとなの医療センターを経て、4施設目となります。久しぶりの転勤で不安もありましたが、職場スタッフ・職員さんの笑顔に毎日助けて頂いています。

私は現在、愛媛県の四国中央市から毎日通勤しています。同郷の方などいましたら声をかけてください。最新の地元情報を提供いたします。

赴任して日も浅く、不慣れでご迷惑をおかけすることもあると思いますが、1日も早く業務に慣れ、病院に貢献できるよう頑張ります。今後ともよろしくお願い致します。

栄養管理室長　奥　　悟

この度、浜田医療センターより赴任して参りました。栄養管理室の奥 悟（おく さとる）と申します。生まれも育ちも大阪の関西人です。私は中国四国グループに採用となり15年目となります。その間、岡山→香川→山口→広島→島根→高知県と6県目となります。

高知県に赴任する前は、不安ばかりでしたが、高知県出身の医師や看護師からは良い処で、帰れるものなら帰りたいと言われていたこと。（人柄もよく、食べ物が美味しい）まだ1ケ月弱ですが、言われていたことがわかる気がします。電子カルテ・部門システムと全く違うため、戸惑いながら栄養管理室スタッフに助けてもらい日々過ごしている毎日です。早く慣れ高知病院の一員と認められるように頑張っていきたいと思います。どうかよろしくお願い致します。

理学療法主任　岡本　正樹

この度、4月より、四国がんセンターより転勤して参りました、岡本 正樹と申します。四国がんセンターでは、主に、呼吸器外科、消化器外科の周術期、血液腫瘍内科のがん治療患者さまのリハビリに携わっておりました。

出身は徳島県です。高知県は温暖な気候で、風土に根差した美味しい食に恵まれた魅力的な場所だと聞きます。高知県に住むのは、初めてですが、期待感いっぱいです。新しい環境で、不慣れな事も多く、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、1日も早く高知病院の一員として貢献できるように精一杯頑張りたいと思います。

これからもどうぞよろしくお願いします。

副看護部長　橘　緑里

4月1日付で国立療養所長島愛生園から赴任して参りました副看護部長の橘 緑里（たちばな みどり）と申します。出身は愛媛県です。趣味は前施設の展示会の出展をきっかけで作るようになった紙粘土工作です。高知には子どものころから四国八十八か所参りや桂浜などに遊びに来ていましたので、親しみがあります。また、魚や果物などおいしいものがたくさんあるので、食いしん坊の私はとても楽しみです。

これまで愛媛県・香川県・徳島県・岡山県・山口県の病院で勤務し、高知病院が8施設目です。初めての勤務場所で緊張しておりますが、高知病院職員として、地域に貢献できるように頑張ってまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

看護師長　森山　恵美子

４月１日付けで JCHO 高知西病院から転勤してまいりました、森山 恵美子（もりやま えみこ）と申します。この度、6 階南病棟に配属となり、高知病院では３年ぶりの勤務となります。看護師長として今まで、スタッフ一人ひとりがやりがいを感じられるような働きやすい職場づくりに取り組んでまいりました。長引く新型コロナ感染症対応に伴う呼吸器センター再編を機会に、スタッフと共に病棟を活性化していきたいと考えております。

まだまだ未熟で至らぬことが多々あると思いますが、一生懸命、丁寧に取り組んでいきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

看護師長　豊岡　康弘

４月１日付けで愛媛医療センターから看護師長として赴任しました豊岡 康弘（とよおか やすひろ）と申します。愛媛県出身で初めての単身赴任になります。
アウトドア派で通勤用ですが自転車を購入したので、少し落ち着けば高知を探索してみたいと思っています。おすすめがあれば教えて下さい。

看護師長として病棟の管理を任される不安もありますが、高知病院の皆さんに出会えたことに感謝し、身体を動かし患者さん、スタッフとのコミュニケーションを大切にして１日でも早く病院に貢献できるよう頑張っていきたいと思います。環境に慣れるまではご迷惑をかけることも多々あると思いますが、ご指導のほどよろしくお願いします。

教員　新居　由美子

４月１日付で四国こどもとおとなの医療センター附属善通寺看護学校から転勤してまいりました、新居 由美子（あらい ゆみこ）と申します。私は、これまで一度も転勤を経験したことがないため、とても不安でしたが、温かく迎えていただき安心しております。

今年で看護教員として７年目になります。これまでの経験を活かし、当校の教育理念にある、基礎的知識・技術・態度を教授し、生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性を養い、幅広い領域に応じて、意欲的に看護ができる看護師を育成していきたいと思います。

新しい環境で期待もある反面、わからないことも多く、皆さまにはご迷惑をおかけしてしまうことと思いますが、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

看護師　竹内　優菜

４月より岡山医療センターから異動してまいりました、竹内 優菜（たけうち ゆうな）と申します。5 年間、岡山医療センターで勤務し小児病棟、救急で経験を積んできました。この度 4 階北病棟へ配属されることになり、慣れない環境で緊張の毎日ですが、病棟の先輩方から丁寧に指導していただき日々成長できる環境で多くの事を学ばせていただいています。

まだまだ分からないことも多く、ご迷惑をおかけすることもありますが、以前の病院で培ったことを活かしつつ、気持ち新たに頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

看護師　足達　真紀

４月１日付けで異動となった足達 真紀（あだち まき）と申します。私は、高知病院附属看護学校を卒業後、広島県の呉医療センターの外科病棟で 9 年間勤務し、多くのことを学んできました。この度、同じ外科病棟である 3 階南病棟へ配属となり、これまでの経験を活かしながらも、初心にかえって看護と向き合っていきたいと思います。また、看護学生の頃に指導していただいた先輩方と一緒に看護を実践できることを大変感慨深く思っております。

看護を通して大切なことをたくさん教えていただいた患者さんへ恩返しができるよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

財務管理係　**追田　将人**

４月１日より事務職企画課財務管理係として国立高知病院で勤務させていただいております、追田 将人（おいた まさと）と申します。

出身地は鹿児島県で、山口県の大学を卒業後、国立高知病院の配属となりました。今まで医療分野と関わることが無かったため、右も左も分からない状況ですが、職場の先輩方の手助けを受けながら徐々に業務を学んでおります。

現在は、与えられた業務に取り組むことで精一杯ですが、財務管理係として働く中で自発的に行動し業務をこなせる職員になることを目指したいと考えております。未熟で至らない部分も多いと思いますが、日々精進して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

臨床検査技師　**野田　涼太**

４月１日から臨床検査技師として検査科に配属されました野田 涼太と申します。

出身は香川県で、３月まで岡山県の大学に４年間通っていました。そしてこの度、高知県での勤務が決まり、ここでの生活を楽しみにしていました。

臨床検査技師としてまだまだ知識や技術も未熟で、日々先輩方からの温かいご指導を頂きながら、検体検査を学んでいます。少しでも早く皆様の力になれるようにこれから日々精進していきたいと思います。不慣れで至らないことが多くご迷惑をおかけしてしまうことがあるとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

助産師　**山内　真紘**

４月から４階南病棟で勤務をさせていただいております山内 真紘（やまうち まひろ）と申します。愛媛医療センター附属看護学校を卒業後、岡山医療センター附属岡山看護助産学校で学び、この春助産師資格を取得しました。進路で悩んでいた中学時代に見たドラマがきっかけで、助産師の仕事に興味を持ち、志すようになりました。高知病院で夢だった助産師として働けることに喜びを感じる一方、分からないことも多く不安や緊張の毎日ですが、先輩方より温かいご指導やサポートをいただきながら日々学んでいます。

妊娠・出産という大きなライフイベントに携わらせていただくことに責任を持ち、女性やその家族に寄り添ったケアを実践していきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

看護師　**福留　世梨**

４月から３階南病棟で看護師として勤務させていただています、福留 世梨（ふくどめ せり）と申します。

小学校の頃から、人の役に立てる職業に就きたいと考え、その中で老若男女たくさんの人の辛い病気との闘病生活の心の支えとなれる看護師を目指してきました。看護師を志し、この春、国立病院機構高知病院附属看護学校を卒業し、看護師の資格を得ました。

新生活がはじまり、緊張と不安でいっぱいでしたが、病棟の先輩看護師さんたちが手取り足取り優しくときには厳しく指導していただくことで学びの多い充実した日々をおくることができています。

まだ、わからないことも多くご迷惑をおかけすると思いますが、患者さんに心から寄り添い、支えになれる看護師になれるよう日々精進していきたいです。

どうぞよろしくお願いいたします。

職員の異動

1月1日付～4月1日付の人事異動（常勤）

勤務延長

▶ R5.3.31

放射線科医師	塩田　博文

採用

▶ R5.4.1

麻酔科医師	島津　朱美
小児科医師	前田　明彦
小児科医師	髙橋　一平
呼吸器内科医師	市原　聖也
産科医師	野口　拓樹
外科医師	石川　大地
呼吸器内科レジデント	松村　有悟
小児科レジデント	小林　希
研修医１年目（たすき掛け）	津曲　雄生
研修医１年目	岡田　真斗
研修医１年目	岩本　直樹
研修医１年目	宮田　涼太
研修医１年目	岡田　晃丞
看護師（看護助手）	原　さくら
助産師	和田　由貴
看護師	塩田　華子
看護師	夕部　友歌
助産師（看護師）	山内　真紘
看護師（看護助手）	福留　世梨
看護師（看護助手）	式地　希瑠
看護師（看護助手）	野々村　凜
看護師（看護助手）	池　蒼生
看護師（看護助手）	門田　亜彩美
一般職員	追田　将人
臨床検査技師（臨床検査助手）	野田　涼太

再雇用

▶ R5.4.1

看護師	岩﨑　律子
看護師	小船　正昭
看護師	中村　智彦

▶ R5.3.31

調理師長	中西　寛
電気士長	川田　泰史
洗たく長等職員	中村　勝明
看護師	森山　万智
看護師	西村　美鈴
臨床検査技師	宮内　幹雄

定年退職

▶ R5.3.31

事務部長	渡邊　和幸
薬剤部長	水口　裕示
看護師	岩﨑　律子
看護師	小船　正昭
看護師	中村　智彦

退職

▶ R5.3.31

外科医長	山﨑　誠司
小児科医師	澤井　孝典
小児科医師	濱田　朋弥
外科医師	江藤　祥平
呼吸器内科医師	國重　道大
麻酔科医師	久米　克佳
産科レジデント	野口　拓樹
呼吸器内科レジデント	市原　聖也
麻酔科医師	鳥海　信一
研修医	橋本　優希
研修医	関本　紗織
研修医	木山　大輔
契約係長	前田　栄治
薬剤師	込山　武弘
薬剤師	横井　里沙
副看護師長	中嶋　美奈
助産師	吉村　彩
看護師	竹埜　美奈穂
看護師	パラティーノ真弓
看護師	中内　泰子
看護師	森田　有加里

転入

▶ R5.4.1

事務部長	齊藤　隆夫
経営企画室長	玉井　笑
薬剤部長	成岡　功
教育主事	吉川　明美
専門職	胡木　晋一
職員係長	海部　香帆
薬務主任	氏原　弘洋
製剤主任	菅　寛史
副診療放射線技師長	鈴木　大輔
栄養管理室長	奥　悟
理学療法主任	岡本　正樹
副看護部長	橘　緑里
看護師長	森山　恵美子
看護師長	豊岡　康弘
教員	新居　由美子
看護師	竹内　優菜
看護師	足達　真紀

転出

▶ R5.3.31

副理学療法士長	岡本　和久
教員	信里　ユリエ

▶ R5.4.1

管理課長	河根　修
教育主事	東谷　みゆき
業務班長	室山　孝
経理係長	八木　雅生
副診療放射線技師長	須内　光明
臨床検査技師	兒玉　啓一郎
主任栄養士	永野　由香里
副看護部長	花車　実佐子
看護師長	山下　智子
看護師長	岸田　恵
副看護師長	戸梶　敦子
副看護師長	竹長　幸子
看護師	前田　智恵子

昇任

▶ R5.4.1

副看護師長	戸田　真由
副看護師長	明神　有紀
副看護師長	篠原　万里栄
副看護師長	川村　友美
副看護師長	中村　圭子

院内発令

▶ R5.4.1

小児科医長	前田　明彦

配置換

▶ R5.4.1

管理課長（管理課）	三嶋　哲也
業務班長（企画課）	田中　宏志
経理係長（企画課）	宮地　貴広
契約係長（企画課）	岡崎　亮

診療科紹介（皮膚科）

皮膚科医師
石元　達士

前任の高橋先生から業務を引き継ぎ、早いもので半年が経過しました。4月から患者さんの放送での呼び込みが氏名でなく受付番号に変わったため、言い間違えがないように気をつけながら日々の診療を行っています。医師の診察室への呼び込みの前に、患者さんはまず合成音声で『○○番の方、中待合にお進み下さい』と中待合へ誘導されるのですが、患者さんの方も慣れていないせいか、そのまま診察室まで入ってこられる方が時々おられます。殆どの方が診察室へ入る前にノックをしてくれるので大丈夫なのですが、一旦中待合で待つ必要があると一目瞭然でわかる方法がないか検討中です。

さて、今回は『ほげい船』に紙面を頂いたので簡単に皮膚科の紹介をさせて頂きます。外来診察日は月曜から金曜日の午前8:30から12:00まで行っています。皮膚科全般をみていますが、乾癬、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、円形脱毛症、痒疹の患者さんが多い印象です。白斑に対する紫外線療法やイボに対する冷凍凝固法なども行っています。スタッフは医師1名、看護師4名が毎日交代で1名、医療事務1名がおります。少人数のチームですので、重症の方がおられるとそれ以降の患者さんを長時間お待たせすることがあります。

午後は手術、院内の往診、皮膚科入院診療を行っています。手術については腫瘍摘出後に単純に縫縮できるような簡単なものは外来診察室で行い、皮膚欠損部に周囲の皮膚を寄せて充填する局所皮弁や別の場所から皮膚を採ってきて移植する植皮術が必要な大掛かりなものは手術室で行っています。疾患としては粉瘤、脂肪腫、石灰化上皮腫などの良性腫瘍、さらに基底細胞癌、有棘細胞癌などの悪性腫瘍が多いです。腫瘍の摘出と縫縮のみであれば日帰り手術が可能ですが、術後1～2週間目に抜糸と結果説明のために再診が必要です。皮弁や植皮の場合は入院となります。手術以外では細菌感染症や帯状疱疹、慢性の皮膚潰瘍、水疱性類天疱瘡などの治療で入院される方が多いです。

一方、問い合わせが多いのですが、対応できないものとしてイチゴ状血管腫やしみ、あざに対するレーザー治療、下肢静脈瘤、皮膚症状の無いアレルギーがあります。

皮膚は全身を覆って内臓を保護していますが、内臓悪性腫瘍に関連して生じる皮膚症状もあり、全身の鏡と言われています。また顔面紅潮、冷や汗のように情動的に反応する器官でもあるため、心の鏡とも言われます。普段から皮膚を表層のものでなく全身の一部、さらに精神的にも重要な役割をもつものと考え診察、治療するように心がけています。

虫刺されからニキビ、皮膚悪性腫瘍に至るまで治りにくい皮膚症状でお困りの方は是非一度ご相談下さい。

祝★成人おめでとう！
～そうだ！成人お祝い旅行に行こう～

療育指導室
西田　益三

2022 年 3 月、新型コロナウイルス感染症流行に伴い、修学旅行に行くことができないまま特別支援学校を卒業した方を対象とした卒業お祝い旅行を実施しました。行事を心待ちにしていましたが、当日の体調不良のため、2 名の利用者は参加することができませんでした。成人年齢が 18 歳に引き下げられ、19 歳になった今年の秋、当院の成人式に参加して大人の仲間入りをされました。晴れて成人を迎えられた 2023 年 2 月、祝★成人お祝い旅行へと名称を変更し、再度計画を練り直し、実施しました。

テーマはリベンジを込めて世界旅行！旅先はインド、韓国、台湾、オーストリア、オランダ、フランス、計 6 か国を旅しました。それぞれのパスポートと旅のしおりを持ち、出国審査へ。たくさんの人から「今度こそ旅行に行けるね」「リベンジ !? 楽しんできてね」など声をかけてもらいながらお見送りをしてもらい、滑走路を颯爽と通り抜けていざ出発。

成人旅行ならではの視覚、聴覚、嗅覚、触覚をフルに堪能できる旅を計画し、インドではスパイス香る利きカレーから始まり、韓国では新たな自分探しのタトゥー、台湾では日々の疲れを癒す手浴・足浴、オーストリアではザルツブルク音楽祭、オランダではミッフィーの故郷へ寄り道、フランスではフランスパン作り体験をしました。いつもの療育訓練室とは違う雰囲気を感じ、少し緊張する様子も見られましたが、見て聴いて嗅いで触れて…それぞれの利用者が自分のペースで楽しむことができたのではないかと思います。

卒業旅行の予定から 1 年。成人という節目を迎え、大人の一歩を踏み出された 2 名の利用者。これからもたくさんの経験をされると思いますが、利用者の楽しかった思い出の 1 つとして心に残ってくれると嬉しく思います。

成人おめでとうございます。これからも自分のペースで毎日を過ごしてくださいね。

感染管理室だより

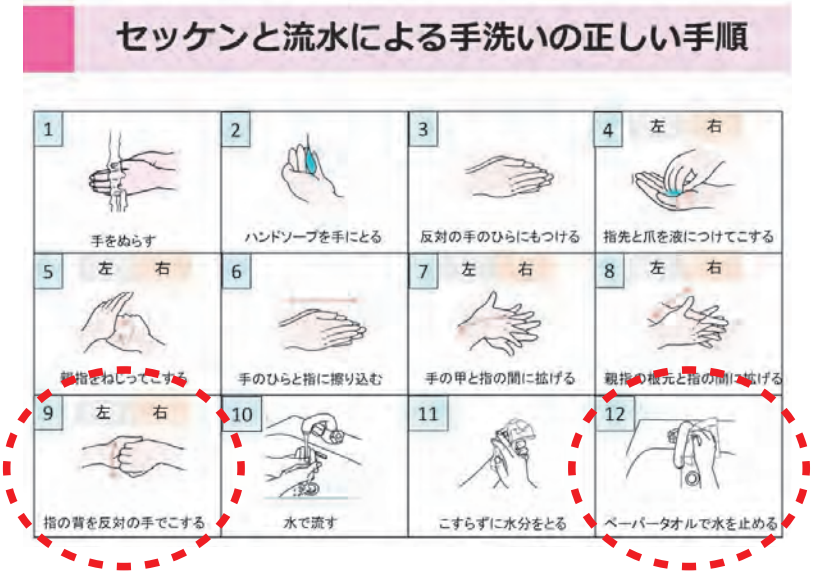
手指衛生手順の一部変更と手指衛生強化月間（5月）

感染管理室
河村　ひとみ

院内感染予防対策マニュアルの中に、手指消毒の手順と流水と石鹸による手洗いの手順を掲載しています。4月に、それぞれの手順の一部を変更しました。WHOが推奨している「指の背を反対の手でこする」という手順を追加しています。また、当院の手洗いシンクは手動開栓のところがありますが、きれい洗った手で開栓レバーに触れると再び手が汚染されます。そのため、ペーパータオルなどを用いて水を止める方法を手順に追加しています。

感染を防ぐ方法は、感染源を除去すること、感染経路を遮断すること、自身の感染防御能を高めることなどがあります。その中でも、手指衛生は感染経路の遮断につながる最も簡単で効果的な感染防止対策と言われています。

手指衛生の方法は、流水と石鹸による手洗いとアルコール手指消毒薬による手指消毒があります。どちらも手指に付着した微生物を取り除いて、手指を清潔にすることができます。医療現場では、手指に汚れがない時はアルコール手指消毒薬による手指消毒、手指に汚れがある時は流水と石鹸による手洗いという風に使い分けることが推奨されています。感染経路を断つためには、手指が粘膜に触れる前に手をきれいにしておく必要がありますが、アルコール消毒薬は手指に付着した微生物に対して短時間で殺菌効果があり、携帯のアルコール手指消毒薬を持っていれば、いつでも手指消毒することができます。



医療現場だけでなく日常生活においても、手洗い（手指消毒）を行うことで、自身の感染予防だけでなく、見えないウイルスや菌が付着した手で他の環境や人に触ることを防ぎ感染の伝播予防につながります。

WHO（世界保健機関）では、毎年5月5日前後に、感染対策の基本である手指衛生に関するグローバルキャンペーンを展開しています。当院でも、5月は「手指衛生強化月間」として職員1人1人が手指衛生遵守できるように取り組みます。ぜひ、改訂した手指衛生手順で実践していただきたいと思います。

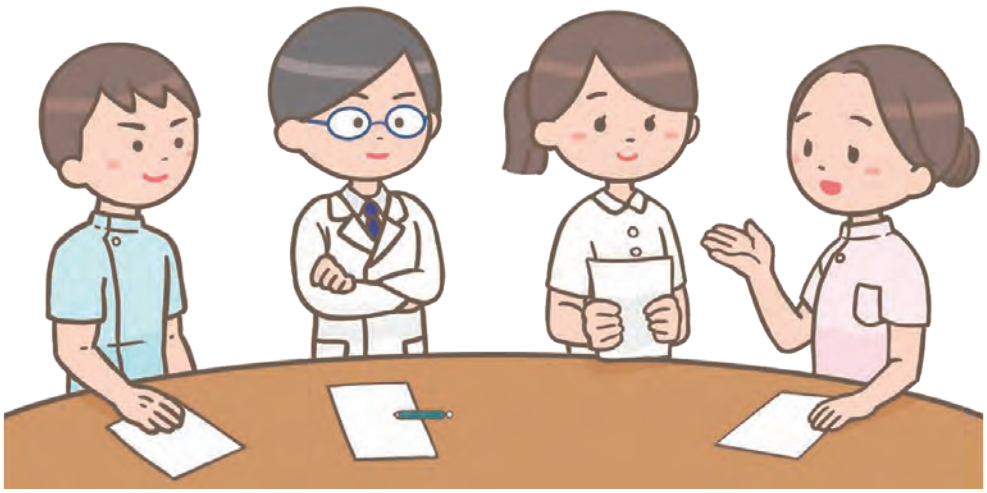
医療安全管理室だより

医療安全管理係長
濵口　かおり

医療安全管理係長２年目の濵口 かおり（はまぐち かおり）と申します。

今回は患者確認についてお話させていただきます。患者さんへの安全な医療の提供は医療の基本となります。高知病院の医療安全マニュアルの管理規定に「高知病院及び職員個人が、医療安全の必要性・重要性を病院及び自分自身の課題と認識し、医療安全管理体制の確立を図り安全な医療の遂行を徹底することがもっとも重要である。」と記されています。医療安全の指針を活用しながら、医療安全管理室が医療安全管理体制を確立し、現場の職員からあげられるインシデントの分析、対策を講じ大きなインシデント、アクシデントが起こらない様に、日々取り組んでいます。

その中でも確認行動は、医療の安全を確保するために最も重要な行為です。ただし、漫然と確認するのではなく、マニュアルに沿った方法で集中し行うことが重要です。与薬や、注射の実施は誤ってしまうと、患者さんに直接影響を及ぼしてしまいます。忙しい時こそ、落ち着いて確実な確認をお願いしたいです。また「あれ、何か変だな、いつもと違う。」と感じた場合には、必ず危険が潜んでいることがあるので注意が必要です。そんな時には一呼吸立ち止まり、もう一度 しっかり確認をしてください。患者さんの安全な医療の提供に、職員全員で取り組んでいきたいと思います。



看護学校だより

第61期生 入学おめでとう

看護学校
露口　絵美

入学式

4月6日、本校最後の入学生、第61期生の入学式を挙行いたしました。

4年ぶりに来賓の方々をはじめ、保護者の皆様にもご出席いただき、コロナ前の入学式と変わらない厳かな式典に、私たち教職員の新入生への歓迎の気持ちも一層高まりました。

先山正二学校長からは「当校の教育理念である創造力、創造する力は他人への思いやりをもたらし、自らに勇気と希望と行動をもたらします。本校で過ごす3年間で、人として成長し、人生における豊かで実り多き機会となることを願っています。」と式辞をいただき、新入生28名は、看護専門職を目指して学んでいく決意を新たにしたと思います。

学校長先生の式辞を心に刻みながら

先輩たちのメッセージに感動

また、式典では、在校生代表が歓迎のことばを述べ、在校生の録音した校歌の斉唱で、新入生のスタートを祝福しました。これから始まる学校生活では、いろんなことで悩み、戸惑うことも多くあると思います。その時にはしっかりと立ち止まって自分を見つめ、新入生1人ひとりが目標に向かってあきらめずに進んでいけるよう、私達教職員一同支援していきたいと思います。

どうか皆様、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

新入生の一言

1年生（第61期生）は、入学して3週間が経ちました。様々な授業が始まり、日々看護を志す仲間とともに勉学に励んでいます。

1年生 濱田 遥奈さん

新入生代表として誓いのことばを述べさせてもらいました。緊張しましたが、とても良い経験をさせて頂きました。先日の健康診断では、2年生の先輩に血圧測定をしてもらいました。その姿がとてもかっこよく、私もこんな風になりたいと思いました。これから、日々の授業だけでなく、沢山練習を重ね看護技術をしっかり身につけていきたいです。

1年生 岡﨑 玲奈さん

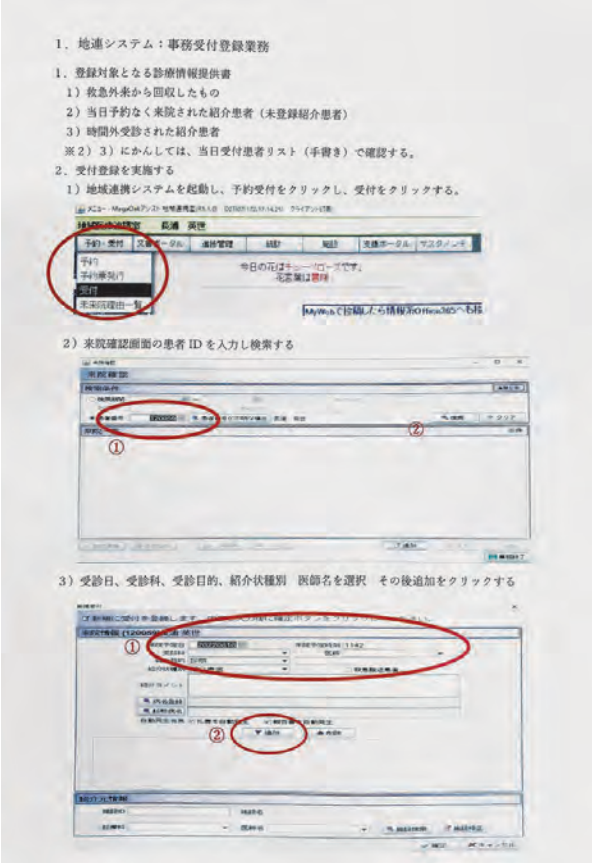
入学当初は、これからの学校生活に戸惑いや不安がありました。入学して3週間が経ちクラスメイトとも打ち解けることができています。そして、看護に関する専門的な科目にも前向きに学習しているところです。これから看護を通して患者さんに接していく機会が増えることを思うと、楽しみとともに身が引き締まる思いです。

地域医療連携室だより

看護師長
森本　純子

新緑が目にあざやかな季節となりました。地域医療連携室も室長補佐として玉井経営企画室長を迎え新しいスタートをきりました。

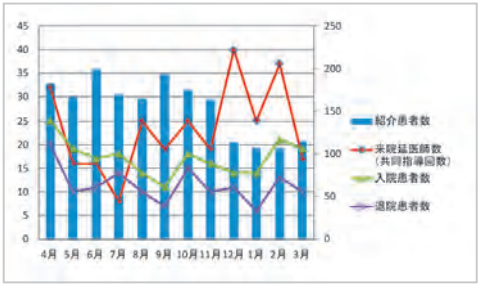
地域医療連携室では、入院支援・前方支援チームと退院支援チームに分れて日々の業務にあたっています。昨年度は、事務職員の入れ替わりもあり、タスクシェアする業務内容の詳細を示したマニュアルの作成が契緊の課題であると認識しました。また、事務業務の詳細を看護が把握できていないことがわかりました。そこで、業務内容ごとに画像を添付し一つひとつの動作をわかりやすく示したマニュアルを作成しました。マニュアルを作成することで、看護師も応援業務に入ることができ、新しい事務職員への指導にも活用できました。昨年度は事務員の不足によるピンチをチャンスと捉え、業務手順の整備や応援体制の環境が整いました。



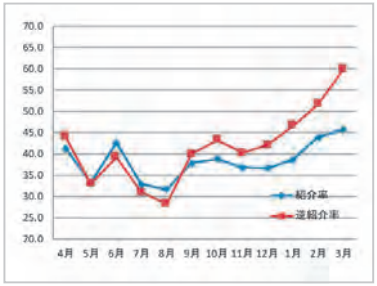
今年度はチーム間での応援体制を整え、限られた人員の中でも質を落とすことなく業務を遂行できる環境作りに取り組んでいきたいと思います。また、入院時支援と、退院支援チームが連携をとり、外来から入院時支援で得られた情報を確実に活かし患者様に切れ目のない医療・看護が提供できるよう取り組んで参ります。

高知病院地域連携等概況

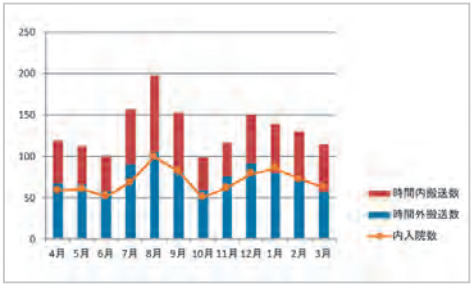
オープンシステム利用状況



紹介率・逆紹介率



救急搬送受診者数



外来診療担当医表

（令和5年4月1日現在）

■受付時間　8:15～11:00
■休診日 土曜・日曜・祝日・12月29日～1月3日

国立病院機構のシンボルマーク
独立行政法人
国立病院機構　高知病院
〒780-8077　高知県高知市朝倉西町１丁目２番25号
TEL（088）844-3111　FAX（088）843-6385
http://www.kochihp.com
高知病院のシンボルマーク

診療科	区分	診察室番号	月	火	水	木	金
内科	午前	1診 ⑧・⑪		小松　直樹		篠原（第1・第3週） 竹内（第2・第4週）	
	午前	特別外来 ⑩		岩原（血液）	松森（糖尿病）	岩原（内科）	
	午後	専門外来 ⑥			化学物質過敏症（予約制）		
神経内科		⑫	不定期（院内案内板に掲示しています。お電話にてお問い合わせ下さい。）				
呼吸器内科 アレルギー科	午前	1診 ⑧	岡野　義夫	竹内　栄治	畠山　暢生	竹内　栄治	門田　直樹
	午前	2診 ⑥		松村　有悟	市原　聖也	町田　久典	
	午前	2診 ⑫					畠山　暢生
	午後	専門外来				禁煙外来 14:00～15:30（予約制）	
消化器内科	午前	⑨	林　　広茂	池田　敬洋	高橋　早代	矢野　庄悟	池田　敬洋
循環器内科	午前	⑦	山﨑　隆志	西村　直己	伊藤　いづみ （第2・4水曜）	山﨑　隆志	
	午前	⑥					古川　敦子
	午後	⑦			伊藤　いづみ （第2・4水曜）受付16:00まで	ペースメーカー （第2木曜）	
リウマチ科		⑩	松森　昭憲				松森　昭憲
小児科	午前	1診 ①	大石　尚文		齊藤　晃士	小倉　英郎	大石　尚文
	午前	2診 ②	佐藤　哲也	髙橋　一平	佐藤　哲也	前田　明彦	高橋　芳夫
	午前	3診 ③	髙橋　一平	小林　　希	小倉　由紀子		前田　明彦
	午後	専門外来（予約制）	慢性疾患	神経・アレルギー	乳児健診	アレルギー	慢性疾患
	午後	専門外来（予約制）	アレルギー			NICU フォローアップ	乳児健診
	午後	専門外来（予約制）	循環器（第2月曜 医大循環器）				
		予防接種	14:00～16:00（予約制）	14:00～16:00（予約制）	14:00～16:00（予約制）	14:00～16:00（予約制）	14:00～16:00（予約制）
外科 消化器外科 小児外科	午前	⑤・⑥	東島　　潤	福山　充俊 （クーポンがん検診）	福山　充俊	石川　大地 （クーポンがん検診）	金本　真美 （肝臓・胆道・膵臓外来）
	午後	専門外来 ⑤		福山　充俊 （乳腺外来）			
呼吸器外科	午前	⑧		先山　正二		先山　正二	先山　正二（予約制）
	午前	⑦		日野　弘之		日野　弘之	
乳腺科	午前	⑤	本田　純子 （クーポンがん検診）		本田　純子 （クーポンがん検診）		
	午後	⑤			本田　純子 受付15:30まで（クーポンがん検診）		本田　純子 受付15:30まで（クーポンがん検診）
整形外科	午前	①	福田　昇司（予約制）		福田　雄介	福田　昇司	合田　有一郎
	午前	②	福田　雄介				
	午後	⑧	骨粗鬆症 13:00～15:00（予約制）			田村　竜也 （予約制）	
脳神経外科	午前	1診 ⑧			非常勤 診察時間 9:00～11:00（予約制） 予約外の方はお問い合わせ下さい		
	午後	⑧					非常勤 受付16:00まで
皮膚科	午前	⑬	石元　達士	石元　達士	石元　達士	石元　達士	石元　達士
泌尿器科	午前	1診 ⑨	大河内　寿夫	葺石　陽亮	大河内　寿夫		大河内　寿夫
	午前	2診 ⑦					葺石　陽亮 診察開始 10:00～
産科	午前	㉟	滝川　稚也	滝川　稚也	野口　拓樹 1ヶ月検診	木下　宏実	甲斐　由佳
婦人科	午前	㉛	木下　宏実 クーポンがん検診	甲斐　由佳 クーポンがん検診	木下　宏実 クーポンがん検診	滝川　稚也 クーポンがん検診	野口　拓樹 クーポンがん検診
	午後						思春期外来（予約制）
眼科	午前	㉓	戸田　祐子	戸田　祐子（予約制）	戸田　祐子	戸田　祐子（予約制）	戸田　祐子
耳鼻咽喉科	午前	⑯	福田（潤）・矢野	福田（潤）・矢野	福田（潤）・矢野	福田（潤）・矢野	福田（潤）・矢野
放射線科			塩田　博文	塩田　博文	塩田　博文	塩田　博文	塩田　博文

※　市町村発行のクーポン券を利用される乳がん検診は、**平日 外科外来**／**乳腺科外来**にて行っています。診察も希望される場合は事前に外来までお問い合わせください。
※　当日の受付は午前11：00までとなっております。